

## ケア サポート 労組ニュース

# 冬季一時金は要求に応えた回答 0.55ヶ月+1万円で妥結

11月19日、18時から19時まで秋闘交渉を行いました。  
理事会側は、加藤本部長、鈴木部長、耳塚課長  
労組側は、福田委員長、労組員13名が参加しました。

### 理事会の回答に対する説明

2015年度ユーコープ全体の経営状況は、みなさんの奮闘で経常剰余は予算を上回っている。しかし赤字体質は改善できていない状況である。現在の賞与水準が適切とは思っていない。

ユーコープ福祉事業の経営状況は、利用時間減少による減収減益の状態にある。全国的にどこでも人手不足になっており採用できない状況は同じである。昨年の秋闘でもお約束したが、採用には力をいれ引き続き取り組んでいきたい。2015年制度改定では、大手事業者で赤字になり事業から撤退したりしている状況もでてくる。

今年は職場懇談会を9月～10月で開催した。ヘルパーの不足により訪問が厳しい状況やPCの不足などの問題点を共有できたと思う。改善できる問題はとりにくんでいきたい。訪問のサービス提供の不足による減収減益になっているが、稼働人件費が抑えられ経常剰余は予算を達成している。2015年度は介護報酬改定による引き下げに対しては、みなさんの努力で現状ではうまく対応ができています。

### 福祉専任職員の意見

- ・回答は納得できるもので、前向きに働く意欲につながるものです。
- ・誠意ある回答・対応を評価します。ありがとうございました。
- ・福祉専任職員も職員並みの支給水準にできないでしょうか。
- ・ヘルパー確保が厳しい状況はかわっていない。
- ・働きやすい職場をつくっていくのは、管理者としての役割だと考えている。

### 理事会からの交渉終了の表明

みなさんの思いは受け止め、がんばりに応えたいと思っている。福祉事業の最大の課題はいかに人を採用し、長く働いてもらえる職場にしていくことが大切だと思っている。7月に時給の引き上げをしたが、それだけでは採用は難しい。  
福祉は人間力が大切、働く使命感と自己犠牲だけでは長続きできない。利用者に喜ばれ働く喜びにつながるような職場にしていきたいと思っている。ヘルパー確保を重点におき勤務体制を確保できるように力をいれていきたい。労使双方で知恵を出し合い働く環境を改善してゆきたい。

### 福田委員長からの交渉終了の表明

冬季一時金の回答は要求に応えるもので評価したい。今年度実績をベースに春闘要求をつくっていききたい。昨年に引き続き、専任職員懇談会を開催し現場実態に向き合い、声をうけとめていただくことは評価したい。一時金をふくめ引き続き勤務実態の改善にとりこんでいただきたい。



(2014年秋闘交渉より転用。今年は撮り忘れてしまいました。すみません……)

### ・団体交渉の日程設定について

「管理者以外は参加できない。」という意見をいただきました。団体交渉は就業後の開催で、交渉日を別途設定することは条件的に難しいです。  
出席できない方も参加者へ意見を託したり、アンケートで声を寄せるなど交渉への参加方法と考えています。